snow peak
outdoor lifestyle creator since1958

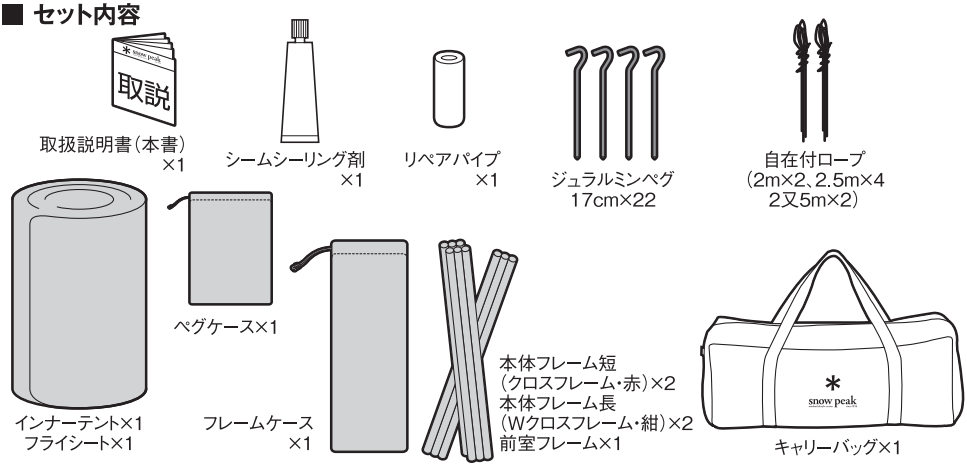
取扱説明書　Ver 1.00

SD-636

ランドブリーズ6

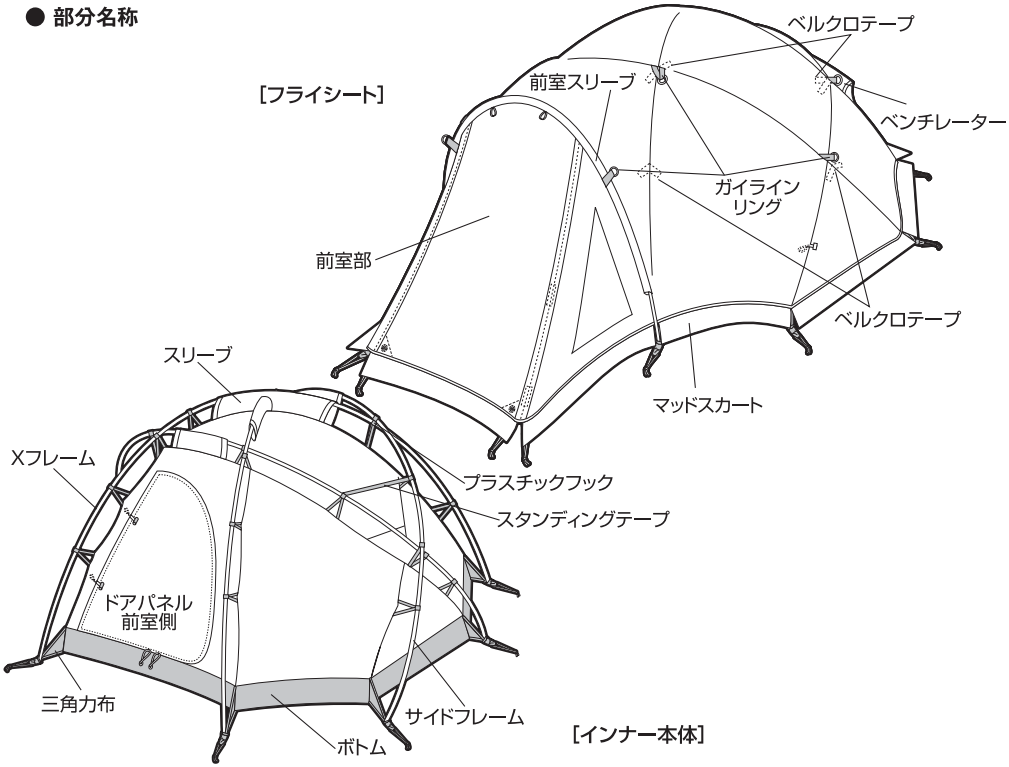
このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品はキャンプ用テントです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

■ セット内容



セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。

● 部分名称



ご使用の前に　よく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

⚠警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

⚠注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

取扱上の注意

⚠危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

●このテントの素材は難燃性ではありません。テント内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れがあり大変危険です。

●テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。

⚠警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

●気象状況には常に細心の注意を払い、風の強いときや悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。

●高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。天候によりテント内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。

●風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。

⚠注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

●本製品は常設用ではありません。

●日差しにより本体表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。

●たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。

●テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返りなどで思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認してください。

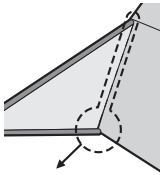
●ペグや張り綱でしっかりと固定して使用してください。

●テント素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。

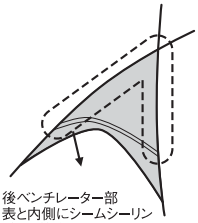
使用前の準備

1.シームシーリング剤による目止め

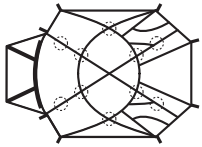
縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、フライシートのベンチレーター部やファスナー部分、ボトムシートの一部は、製造の都合上または構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨、地面に雨水が溜まっているような状態では、縫い目から雨水が侵入することがありますので必要に応じて縫い目にシームシーリング剤（目止め液）を塗布してください。シームシーリング剤は縫い目にそって表裏の両面からうすく塗布し、よく乾燥させてください。シームシーリング剤は時間とともに硬化してきます。剥離したときは塗布しなおしてください。指定以外の場所から侵入した場合は、必要に応じて目止めを行ってください。



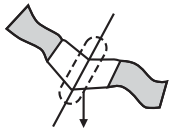
ボトムコーナー部すべてにシームシーリング剤を塗布してください。



後ベンチレーター部
表と内側にシームシーリング剤を塗布してください。

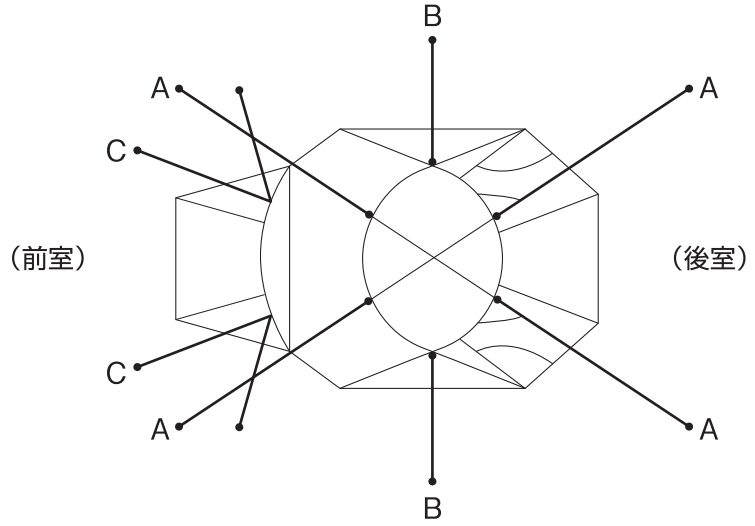


フライシート表側
ずれ防止ベルクロテープ部
丸印箇所。



フライシート裏側
ずれ防止ベルクロテープ部の表と裏側にシームシーリング剤を塗布してください。

2.フライシートへの張り綱取り付け



A: 2.5m×4
B: 2m×2
C: 2又5m×2

テント室内には小物を吊すループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

設営の手順

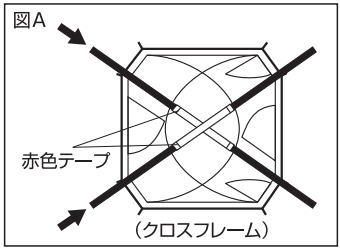
0）設営は必ず2人以上で行ってください。

1）テント本体を平らな場所に広げます。
※フライシートには前室と後室との区別があり、主に前室側がメインの出入口となります。あらかじめ風雨などの予測をし、前室の方向を決めておくことが必要です。
※基本的に前室は風下に向けます。風上に向けると、風雨が侵入するばかりかドアを開けた際に突然風が入り、本体を破損する場合があります。

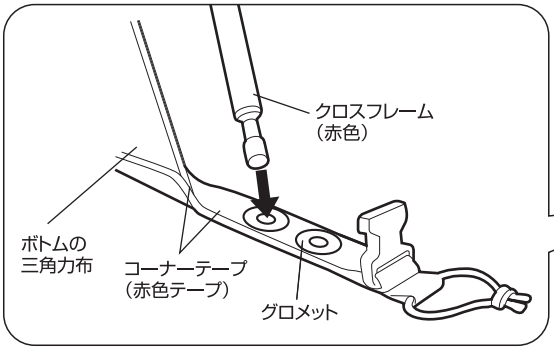
2）末端が赤のフレーム（以後クロスフレーム）を伸ばし、接続部分をしっかりと連結します（2本）。
※フレームの連結部分にすき間ができないように、しっかりと差し込んでください。

3）2本のクロスフレームを赤色の表示のあるスリーブに1本ずつ、ゆっくりと送り込みます。
〔図A〕

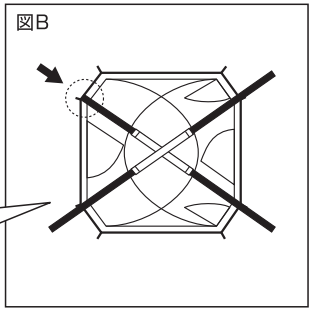
図A



4）ボトムの三角力布のグロメットにクロスフレームの先端を差し込みます。
（クロスフレームのコーナーテープは赤色です。）〔図B〕

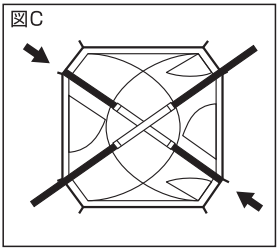


図B

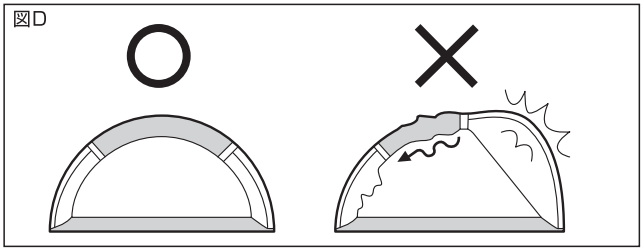


5）差し込んだクロスフレームの反対側の先端をグロメットに差し込みます。〔図C〕
※スリーブの位置が中央になる様に本体を調整しながら、ゆっくりとフレームの先端をグロメットに差し込んでください。一方から強引に押込むと反対側が大きく湾曲し、フレーム破損の原因になります。〔図D〕
※反対側の人と声をかけ合いながらグロメットにフレームを差し込んでください。

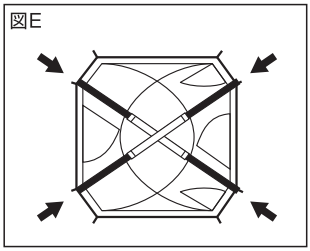
図C



図D

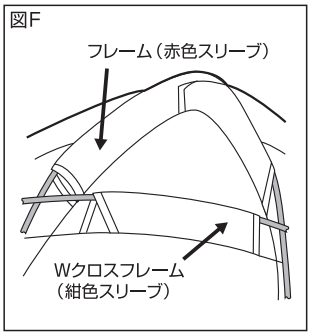


6）もう1本のクロスフレームも、同じ要領でグロメットにフレーム先端を差し込み、テントを立ち上げます。〔図E〕
※ドアパネルを半分位開けておくと空気が室内に入りうまく立ち上がります。

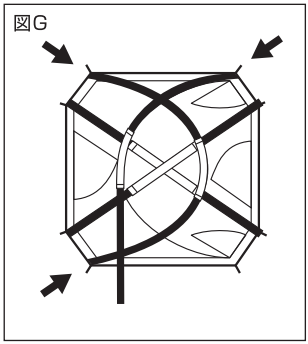


7）末端が紺色のフレーム（以後Wクロスフレーム）を伸ばし、接続部分をしっかりと連結します（2本）。フレームの連結部分にすき間ができないように、しっかりと差し込んでください。

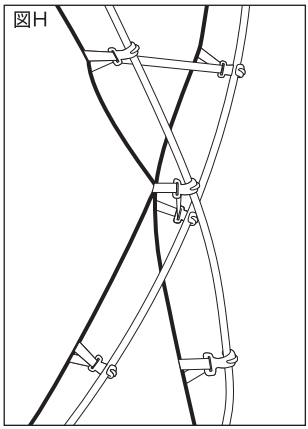
8）2本のWクロスフレームを紺色の表示のあるスリーブに1本ずつ、ゆっくりと送り込みます。Wクロスフレームはクロスフレームの上を通してください〔図F〕



9）Wクロスフレーム両端をグロメットに差し込みます。（Wクロスフレームのコーナーテープは紺色です。）〔図G〕

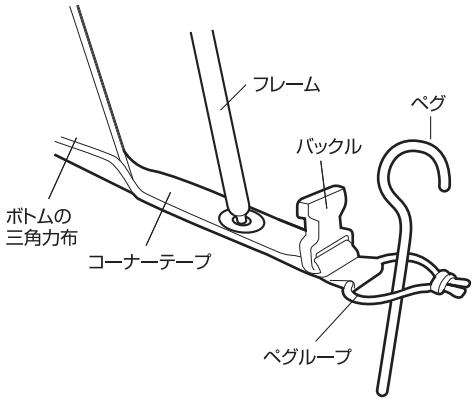


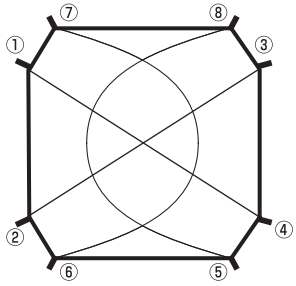
10）本体に付いているプラスチックフックを各々のフレームに引っ掛けます。〔図H〕



11）前後のドアパネルのファスナーを全て閉めます。次に8カ所のコーナーテープ先端に付いているループにペグを通し、ボトムのたるみを取るように番号順に軽く引き打ちこみます。〔図I〕
※ペグは最後まで打ち込んでください。
※ペグは無理に打ち込むと、曲がりや折れなどの破損につながります。少しずつ打ち込み、石などの障害物に当たった場合は場所を変えてから打ち込んでください。
※ファスナーを閉めずにペグダウンすると、ドアが閉められなくなることがあります。

図I

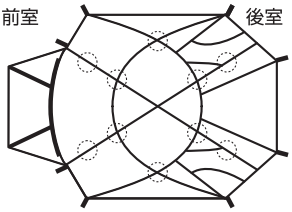




ボトムのたるみを取るように番号順
に軽く手前に引きペグダウンする。

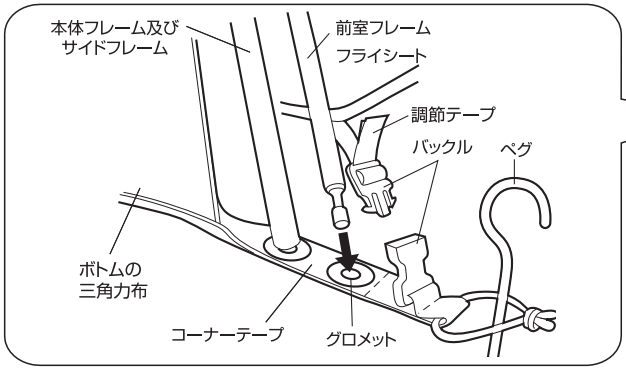
12）前室・後室の方向を確認し、フライシートを被せます〔図K〕
※フライシートの内側に付いている、ずれ防止のベルクロテープをフレームに巻き付けて固定します。

図K

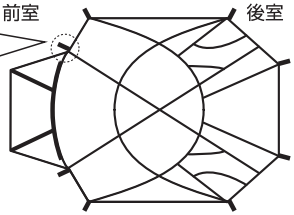


13）前室フレームを伸ばし、接続部分をしっかりと連結します。（1本）。
※フレームの連結部分にすき間があかないように、しっかりと差し込んでください。

14）フライシート前室のスリーブに前室フレームをゆっくりと送り込み、フレーム両端をコーナーテープのグロメットに差し込みます。〔図L〕



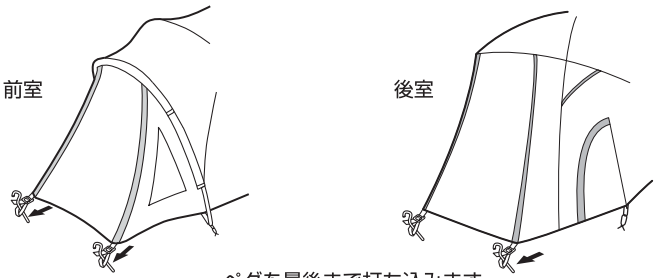
図L



15）フライシート裾の8個のバックルをボトムコーナーテープのバックルに接続します。全てのバックルを接続した後フライシートの弛みをとる為に調節テープを引き、テンションをかけます。〔図L〕
※引きすぎにご注意ください。引きすぎますと、フライシートを破損する恐れがあります。

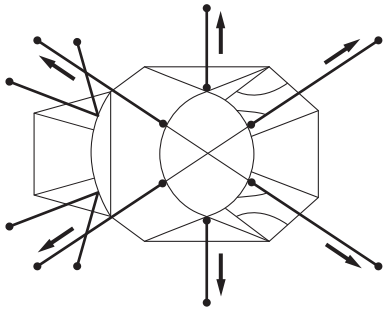
16）前室・後室の先端を引き、バックル付テープにペグを通し、打ち込みます。〔図M〕
※引きすぎにご注意ください。引きすぎますと、ファスナーに負担がかかり破損する恐れがあります。

図M



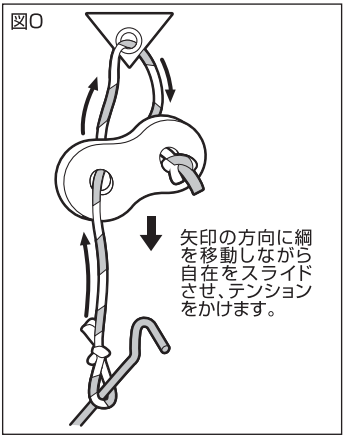
17）各張り綱を伸ばし、ペグを打ち込みます。〔図N〕

図N



18）張り綱の自在を引き、テンションをかけます〔図O〕
※引きすぎにご注意ください。引きすぎますとフライシートに負担がかかり破損する恐れがあります。

図O



■収納時の注意事項

□フレームをグロメットから外す時はフレームがハネ返り危険です。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。

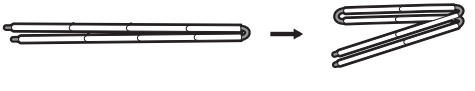
□Wクロスフレーム、クロスフレームをグロメットから外す際は、プラスチックフックをつけたまま外してください。（全てのフレームをグロメットから外した後、プラスチックフックを外してください。）

□スリーブからフレームを取り出す際は、押して取り出してください。

※フレームを引いて取り出すと、スリーブの中で連結部が外れることがあります。必ず押して出してください。外れた連結部で生地を傷めることがあります。

□フレームは中央から端に向かって折り畳んでください。端から折り畳むとショックコードに負担がかかり伸びや切断の原因になります。〔図P〕

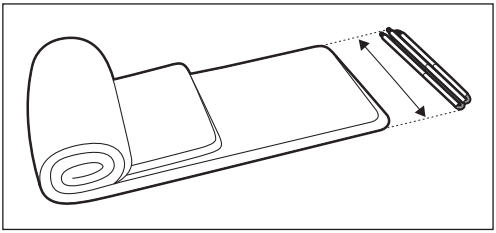
図P



■ケースへの収納

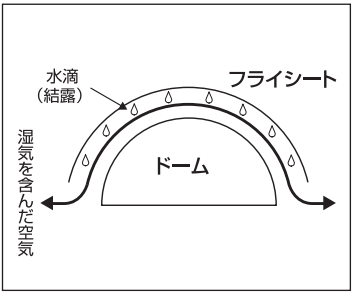
①キャリーバッグの長さに合わせ、本体、フライシートを折り畳みキャリーバッグの中に入れます。

②フレームやペグはそれぞれ付属の専用ケースに入れ、キャリーバッグに収納してください。むきだしの状態で収納すると本体生地やキャリーバッグを損傷することがあります。



結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特に狭いテント等の空間では、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となりテント内に結露が発生します。テント内では、特にフライシート・ボトム部分などの防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のために適時換気を行ってください。



撥水・防水性能について

●本製品はいずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能（撥水の仕方や耐久性）に若干の差が見られる場合があります。
●防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
●農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
●撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合がございます。

紫外線の影響について

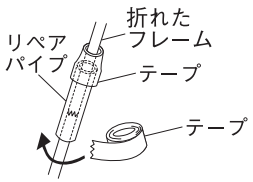
●本製品にはフライシートの生地にUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化を緩和します。
＊UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。

メンテナンス・保管

●本製品はポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
●濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
●フレームを通した状態のままで逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
●フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
●フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。

●高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
●ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
●ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
●次回の使用に備え、張り綱などの付属品も含め、十分に保守、点検をしてください。
●シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングが一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
●樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
●使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかにリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収をしてください。

こんなときは



Q:キャンプ場でフレームが折れてしまったとき
A:応急処置として速やかに付属のリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。
Q:キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき
A:傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。
Q:撥水が衰えてきたとき
A:撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。
Q:生地にカビが発生したとき
A:カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

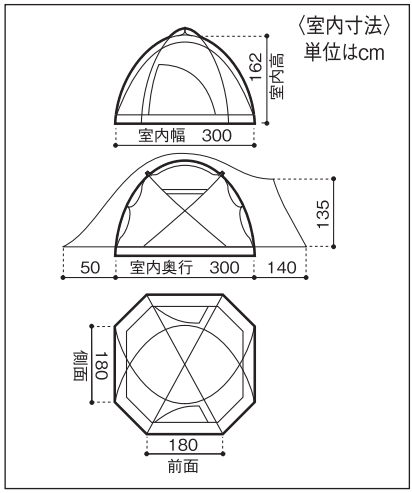
1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

修理について

●本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
●修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
●修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
●修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック
SD-636 ランドブリーズ6

- ●材質:フライシート／75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・テフロン撥水加工・UVカット加工、マッドスカート／210Dポリエステルオックス・PUコーティング、インナーウォール／68Dポリエステルタフタ、ボトム／210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、フレーム／ジュラルミンA7001（φ11mm+φ9mm）
- ●セット内容:テント本体、本体フレーム短（×2）、本体フレーム長（×2）、前室フレーム（×1）、ジュラルミンペグ（17cm×22）、自在付ロープ（2m×2、2.5m×4、2又5m×2）、シームシーリング剤、リペアパイプ、キャリーバッグ、フレームケース、ペグケース、取扱説明書
- ●キャリーバッグサイズ:75×23×27(h)cm
- ●重量:9.8kg(フレーム・ペグ・ロープ含む)



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
スノーピークユーザーサービス
0120-010-660（9:00～17:00）
Email:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel.0256-46-5858 Fax.0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA